

## 【機器構成内容】

品名	メーカー	数量
ベッドサイドモニター式		1式
(構成内容)		
ベッドサイドモニタ DS-8007N	フクダ電子	1
ACユニット DSA-81	フクダ電子	1
8100用トロリー上ユニット OAO-8100	フクダ電子	1
トロリー(S) OT0-16S	フクダ電子	1
リチウムイオンバッテリーパック BT0-008	フクダ電子	1
長時間波形記録カード SD-16G	フクダ電子	1
心電中継コード CIO-05CTP-3NU	フクダ電子	1
心電図用誘導リード クリアリードII CMC-700-3	フクダ電子	1
モニタ用血圧カフ CUF-8504	フクダ電子	1
エアホース OA-80APR3.5	フクダ電子	1
センサ接続ケーブル DOC-10	コヴィディエンジャパン	1
心電・呼吸SpO2送信機 LX-8300	フクダ電子	6
心電図用誘導リード クリアリードII CMT-01CTH-0.8D	フクダ電子	6

## 【性能・機能に関する要件】

1 ベッドサイドモニターについては以下の要件を満たすこと。
1-1 ディスプレイ部は7インチ以下ワイドタイプカラーLCDであること。
1-2 1画面に最大14波形の同時表示が可能であること。
1-3 患者の負担を考慮し、画面を非表示にできるスリープ機能を有すること。
1-4 モニタリングは成人、小児、新生児に対応していること。
1-5 生体情報パラメータ用ケーブルコネクタはリスクマネージメントの観点からコネクタはずれを防止するためのロック機構が設けられていること。
1-6 タッチパネルまたは固定キーによる操作が可能であること。
1-7 操作の簡素化を図る為のショートカットキーを5個以上有すること。
1-8 心電図、呼吸、経皮的動脈血酸素飽和度、非観血血圧、観血血圧4チャンネル、呼気終末炭酸ガス濃度を測定可能であること。
1-9 心電図の計測範囲は0.12～300bpmの範囲で測定が可能であること。

1-10	除細動装置に対する保護回路を有すること。
1-11	S T計測機能を有し計測点の変更が可能であること。
1-12	12誘導解析機能を有すること。
1-13	呼吸波形の計測範囲は0.4～150bpmの範囲で測定が可能であること。
1-14	無呼吸時間（A P N E A）の計測が可能であること。
1-15	インピーダンスでの計測が可能であること。
1-16	動脈血酸素飽和度の計測範囲は1～100%の範囲で測定が可能であること。
1-17	測定方式は、体動、低灌流時にも対応できる前額部センサを使用できること。
1-18	ディスプローブの使用が可能であること。
1-19	動脈血酸素飽和度の変化を同期音の音程にて把握できること。
1-20	経皮的動脈血酸素飽和度測定により呼吸数を計測することが可能であること。
1-21	非観血血圧の計測範囲は0～300mmH gの範囲で測定が可能であること。
1-22	手動/定時/連続にて計測が可能であること。
1-23	測定の終了を音で知らせる機能を有すること。
1-24	観血血圧の計測範囲は-50～300mmH gの範囲で測定が可能であること。
1-25	ゼロバランスが容易に行えること。
1-26	観血血圧から脈拍数を計測し、脈拍数計測値棒が表示できること。
1-27	体温の計測範囲は0～45℃の範囲で測定が可能であること。
1-28	Y S I -400シリーズのプローブを使用可能であること。
1-29	アラームは、重要度に応じて3段階以上にて通知する機能を有すること。
1-30	アラームは、IECの規格に準拠したアラーム表現が可能であること。
1-31	アラーム設定画面において、特定の管理者のみが操作可能にするため、パスワードロック機能を有すること。
1-32	アラーム設定に関しては、メーカーデフォルト以外にユーザーデフォルトの登録が可能であること。
1-33	アラーム音は消音できない様に、最小設定値を設定できること。
1-34	アラーム発生時には、画面表示や音だけでなくディスプレイ上部に付属したLEDによる通知が行えること。
1-35	アラームの重症度を変更する機能を有すること。
1-36	アラーム閾値を2重化し、アラームの聞き逃しを防ぐ機能を有する事。
1-37	アラーム音は、音量・音色をそれぞれ高・中・低アラームに関して設定可能であること。
1-38	データ保存はグラフトレンド/リストトレンド/リコール/アラーム履歴/長時間波形保存機能を有していること。

1-39	画面に表示している日時のまま、別データの参照が可能なこと。
1-40	最大240時間の長時間波形保存、リスト、トレンドが可能であること。また退床患者データを最大240時間分保存可能であること。
1-41	記録器は3チャンネルの波形を記録可能であること。
1-42	測定している波形を3チャンネル同時記録することが可能なサーマルアレイレコーダを有すること。
1-43	サーマルアレイレコーダによりグラフトレンド/リストトレンド/リコール/長時間波形記憶における圧縮波形・拡大波形/血行動態データリストの記録が可能であること。
1-44	出力レコーダとして3チャンネルレコーダユニットおよびセントラルモニタの3チャンネルレコーダ、レーザープリンタの選択が可能であること。
1-45	ネットワーク構築されているレーザープリンタへの出力が可能なこと。
1-46	トレンドグラフは24時間以上の保存が可能であること。
1-47	長時間波形は120時間以上保存できること。
1-48	A型デジタル方式で、セントラルモニタへ送信可能であること。
1-49	テレメータ送信機能を内蔵していること。
1-50	送信チャンネルは内部メニューにて、任意に変更可能であること。
1-51	OCR機能をもつこと。またOCR機能において呼吸ソースをインピーダンスとCO2の切替が可能であること。
1-52	セントラルモニタと有線LANにて通信が可能であること。
1-53	電波法に定められた特定小電力医用テレメータに準拠したデジタルA型送信機を装着することで、測定データをセントラルモニタへ無線通信できる機能を有すること。
1-54	患者の個人情報保護の観点から画面輝度や同期音等を抑える機能を有すること。
1-55	モニターを使用するセグメント毎に使用しやすくするために、患者区分の選択はユーザーデフォルトが登録可能であること。
1-56	バーコードリーダー、IDカードリーダー、無線バーコードリーダーの使用が可能であること。
1-57	時刻変更はパスワード管理が可能であり、複数の管理者パスワードで解除可能であること。
1-58	操作キーに関して、キーロックをかけることができ、パスワードにて解除が可能であること。
1-59	3種類のパスワードで操作ロックが可能であること。
1-60	パスワードは最大3通り設定可能であり、3通りに優先順位が設けられていること。
1-61	搬送を考慮して連続して5時間以上の電源供給が可能なバッテリーを有すること。
1-62	専用架台を有すること。
2	心電・呼吸SpO2送信機については以下の要件を満たすこと。
2-1	心電図/呼吸波形/SpO2/脈波波形の測定が可能であること。

2-2	充電式単三ニッケル水素電池の使用が可能なこと。
2-3	心電図測定に関して、3/4/5電極を使用可能であること。
2-4	5電極使用時は、心電図波形を2チャンネル送信可能であること。
2-5	本体のスイッチで、誘導・感度の切替が可能であること。
2-6	本体の操作のみで、チャンネル変更が可能であること。
2-7	心拍/脈波同期音のON/OFF設定が可能であること。
2-8	ペースメーカーパルスの検出感度の切替が可能であること。
2-9	電極外れ/プローブはずれ/電池残量が無い場合に、通知音を鳴らすことが可能であること。
2-10	ケーブルがついていない状態で防水規格IPX8に適合していること。
2-11	本体サイズは、72(W)×27(D)×102(H)mm及び重さ約190g(電池含む)であること。
2-12	測定波形や送信機情報を表示するカラー表示器を有すること。
2-13	心電・呼吸測定のみ/SpO2測定のみを送信機としても使用可能であること。
2-14	通信方式は医療用テレメータ用無線設備A型を採用していること。
2-15	デジタル伝送方式を採用していること。
2-16	既存のセントラルモニタにて数値・波形が表示できること。